

“乗り&撮り鉄”の夢が叶うよう、 紛争のない世界を願います!!

山口大学大学院 医学系研究科 教授
同医学部附属病院 薬剤部長、臨床研究センター長
古川 裕之

田舎駅のホームの端、線路脇、見晴らしの良い丘の上、そして、海外の鉄道駅ホームに立ちカメラを構える。ある時は、最前列車両の運転席横や後部車両の最後尾に立ちカメラを構える。その人達は“撮り鉄”と呼ばれている。

鉄道を趣味の対象にする人(鉄道ファン)は様々である。主なものとして、鉄道車両での移動を楽しむタイプ(乗り鉄)、車内放送などの録音を楽しむタイプ(録り鉄)、そして写真撮影を楽しむタイプ(撮り鉄)がある。また、鉄道模型コレクターも少なくない。鉄道熱(鉄分)が高い人は、別分野のマニア同様「オタク(自分の好きな事柄や興味のある分野に傾倒しすぎる人への呼称)」の仲間として分類される。“オタク”という用語には暗いイメージが付きまとうが“乗り&撮り鉄”に分類される私は、ラテン系の性格である。

鉄道ファンのうち“撮り鉄”や“録り鉄”は、静かに鉄道旅を楽しむ“乗り鉄”と異なり、世間の評判はあまり良くない。確かに、車窓を眺めながら静かに時を過ごす“乗り鉄”タイプは、クラシック音楽を鑑賞しているような大人のイメージを受ける。一方“撮り鉄”タイプは、幼児のように落ち着きがなく、車内を何度も往復移動したり、立ち入り禁止区域に入り込んだり、極端な場

合は車両を停車させたりと、迷惑行為も少なくない。

鉄道写真に興味を持つようになったきっかけを考えてみた。結論から言うと「消え行くものの記録」である。

故郷の実家は、車道を隔てて線路が伸びていた。その路線(越美北線)は非電化の単線で1日に数往復、1両か2両編成のディーゼル客車が走っていた。そして、その合間を縫って勝原駅の転車台で方向転換するため、蒸気機関車(“ハチロク”と呼ばれる8620形)が単機で1往復していた。当時は、鉄道車両の往来が時計代わりという毎日だった。



真名川鉄橋を渡る“ハチロク”(1972年)

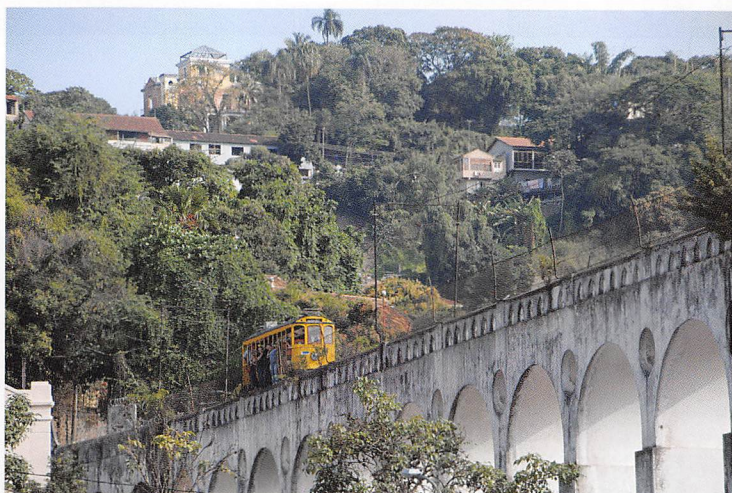
大学生の頃、その蒸気機関車が廃止(1973年)されるというニュースを知った。帰省した折、当時愛用していたPENTAX SPで何枚かの写真を記録し

た。その頃は、人物写真の方に興味があり、気に入った女性のポートレート撮っていた。その程度の“鉄分”だった。

2008年のゴールデンウィーク、部屋の整理をしていた時、偶然懐かしい写真とネガフィルムを発見した。越美北線を走る“ハチロク”の写真だった。他にも、能登線(石川県)と倉吉線(鳥取県)を走る蒸気機関車の写真も残っていた。すべてが「消えた」蒸気機関車」だった。

ひと口に「鉄道写真」と言っても対象は様々である。私の場合、興味の対象は機関車。その理由は1両で走っていてもサマになるからである。新幹線車両のように何両も連結して高速度でスマートに走るものには興味が湧かない。もし、新幹線が先頭車両だけで走っていたら滑稽である。つまり、1両で走っていてもサマになる機関車に男のロマンを重ね合わせた。

海外に出かけた時も、時間さえあれば“取材”と称して鉄道車両を追いかけている。これまでの海外鉄道取材の中で特に印象に残っているのは、リオデジャネイロ(ブラジル)の黄色の路面電車(Bonde)とバンコク(タイ)の整備場での蒸気機関車。他には、鉄路での初めての国境越え(オランダ→ドイツ)も、強く印象に残っている。国境越えの時は、どこが国境なのか、車窓に張り付いてずっとビデオカメラを



リオデジャネイロ名物のBonde (2010年)

回し続けた。

2008年9月、「ふるかわひろゆき no『撮り鉄日記』」というブログを開設した。ブログは、週イチのペースで6年半以上も続いている。掲載記事は320件を超え、掲載写真は約5,000枚になる。2015年からは、ブログ名に「♂」を加え、旅先で楽しんだ「温泉」も紹介することにした。(http://ameblo.jp/toritetsu-nikki/)

実は、ひそかに退職後の鉄道旅を計画している。国際情勢が心配だが、計画では日本から大陸に上陸、北上して、ウラジオストクからシベリア鉄道でモスクワに向かい、さらにフランスを経由してイギリスに上陸…というコース。この鉄道旅計画は個人的な夢だが、それが実現するよう紛争のない世界となることを心から願っている。



仁保峠に向かう「SLやまぐち号」(2012年)

薬科機器通信「やげん」

PHARMACEUTICAL EQUIPMENT & MACHINERY NEWS

展示会情報

8/1(土)~2(日)

日本病院薬剤師会関東ブロック 第45回学術大会

付設薬科機器展示会

11/21(土)~23(祝)

第25回 日本医療薬学会年会

併催薬科機器展示会

11/22(日)~23(祝)

第48回 日本薬剤師会学術大会

付設薬科機器展示会

新製品情報

【国内】

- ▶ 錠剤を懸濁するための専用容器に本体白が新登場
- ▶ クリーンルーム性能評価の環境測定計測機器システム
- ▶ イソフルラン(試薬)用キーフィルター注入器
- ▶ 一般市販ろ紙55φに適合したロート
- ▶ 注射返品薬払出機
- ▶ クリーンルームに最適なマーカーペン
- ▶ 薬剤自動分割分包機・錠剤供給ユニット
- ▶ 小型ピュアスチーム発生装置

【海外】

- ▶ ホルター ECGレコーダー
- ▶ 器具の予洗用ジェル
- ▶ 高圧式食品粉碎機
- ▶ 自動液体分注処理システム
- ▶ 統合卓上細胞培養装置
- ▶ タンパク質沈殿カートリッジ

